

空と雪と、  
京都の路地は奥に深いです

itu +





狛犬というより、困った犬。

銀閣寺のすぐ北側にある八神社の入り口に、おられます。



重みに耐える南天。  
この南天は房が大きい。



小さなつらら。

おわりかけの氷の線香花火のようです。



白くなれなかったね。



雪の日にリキシャに乗ると、古い映画の中を走っているように感じるかもしれません。

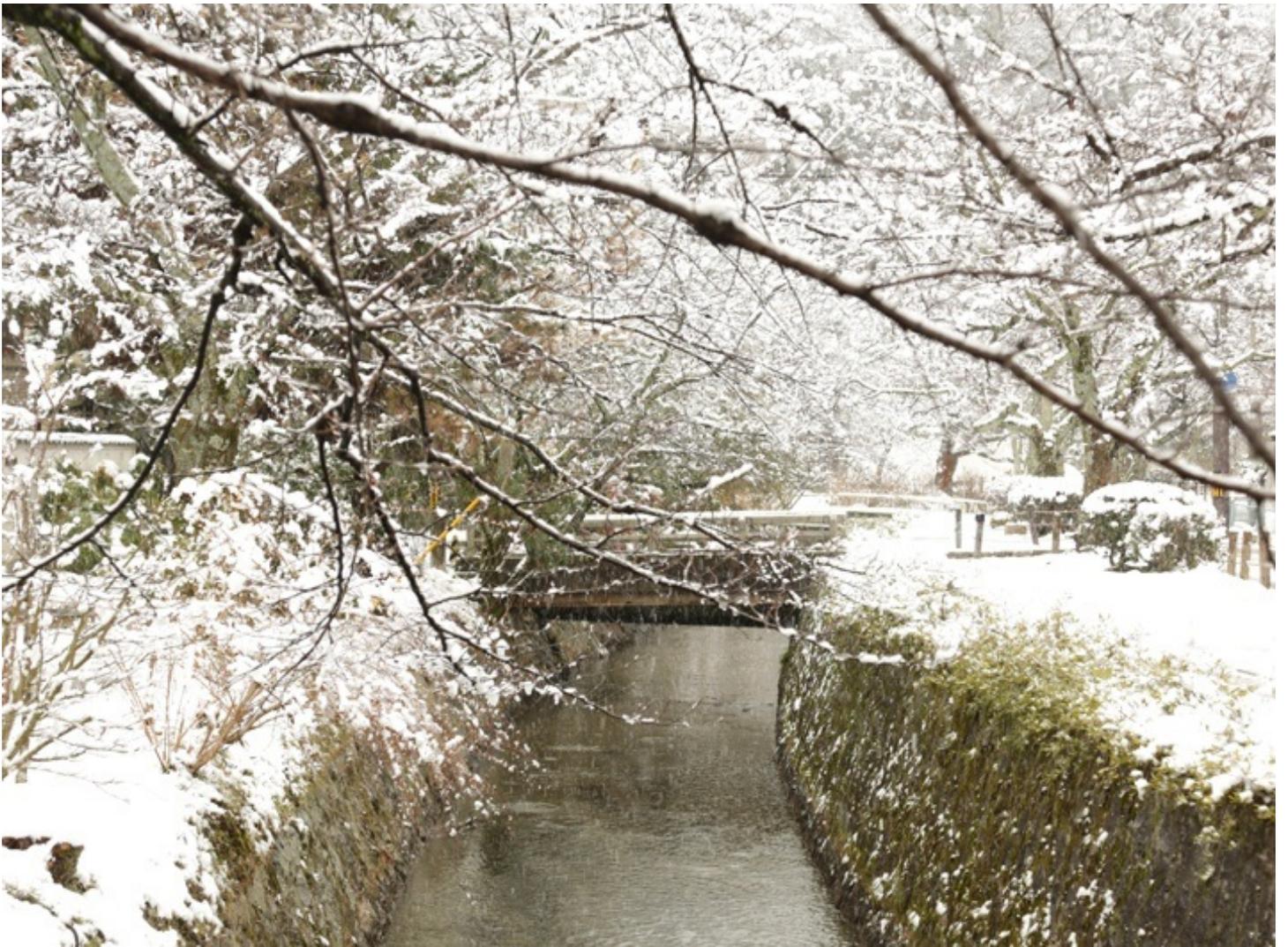


梅の花のような漆喰の窓。

もうすぐ季節ですね。



銀閣寺から見える借景の山を  
南西の方角から見上げています。



哲学の道です。

南禅寺あたりから銀閣寺付近までつながっています。  
クルマが通らないので散策にはいいのですが、そこそこ距離があります。  
ヒールの高い靴は止めた方がいいでしょう。

う、、、鼻水が。



このタイル壁のマンションが、昭和の香りたっぷりで、  
おそらく築40年もの。

配管、配線がむき出しで、ものすごくそそられたので、  
カメラに収めたかったんですが、どうにも手に負えなくて、  
このビンテージ感たっぷりのバイクだけにしました。

この雪に、お尻の型をつけてもらいたい。



一般的には、梅だ、桜だ、紅葉だと愛でに出かける風潮ですが、  
そのお陰で椿の季節は平穏です。

木篇に春。  
椿、だい好きです。



椿って、"見て見て"っていうのではなくて、  
気付いた人だけ、知ってくればいいみたいな  
雰囲気があるって、、、



なんだか、知ってるよ。分かっているから、  
って声を掛けたくくなります。



ルノー4ですねえ。こんなところで出会うとは。  
うーん、粉砂糖振りかけた”ういろう”みたい。



降っても降っても融ける雪でした。  
正午が近くなって来て、気温も少し上がったのかも。



雪関係ないんですが、あまりにオシャレな窓だったので。

でも、このあたり観光客の往来が多いので、  
あまり開放出来そうにないのが、人ごとながら残念。



この庭園は、某あぶらとり紙屋さんの支店です。  
古民家を改装（改造ではなくて！）して作ったカフェと物販。

たまたま通りかかって知ったんですが、ちょっと暖まろうと  
お邪魔しました。



石塔に石灯籠、ぐいちにつけられた石橋など、  
日本庭園によく見られる要素が、狭い敷地にぎゅっとつまっていて  
非常に可愛い庭園です。（狭いと言っても、個人宅としてはかなり広い）



この1階部分でお茶をいただきます。







玄関で靴を脱ぎ、座敷に上がります。中は暖かい。  
座布団に座ってみる雪庭がまた美しい。

....男ひとりで、こういう店に入るのって  
なかなか敷居が高いというか、暖簾が重いというか。



床の間、、、読めません。





### 御薄のセット

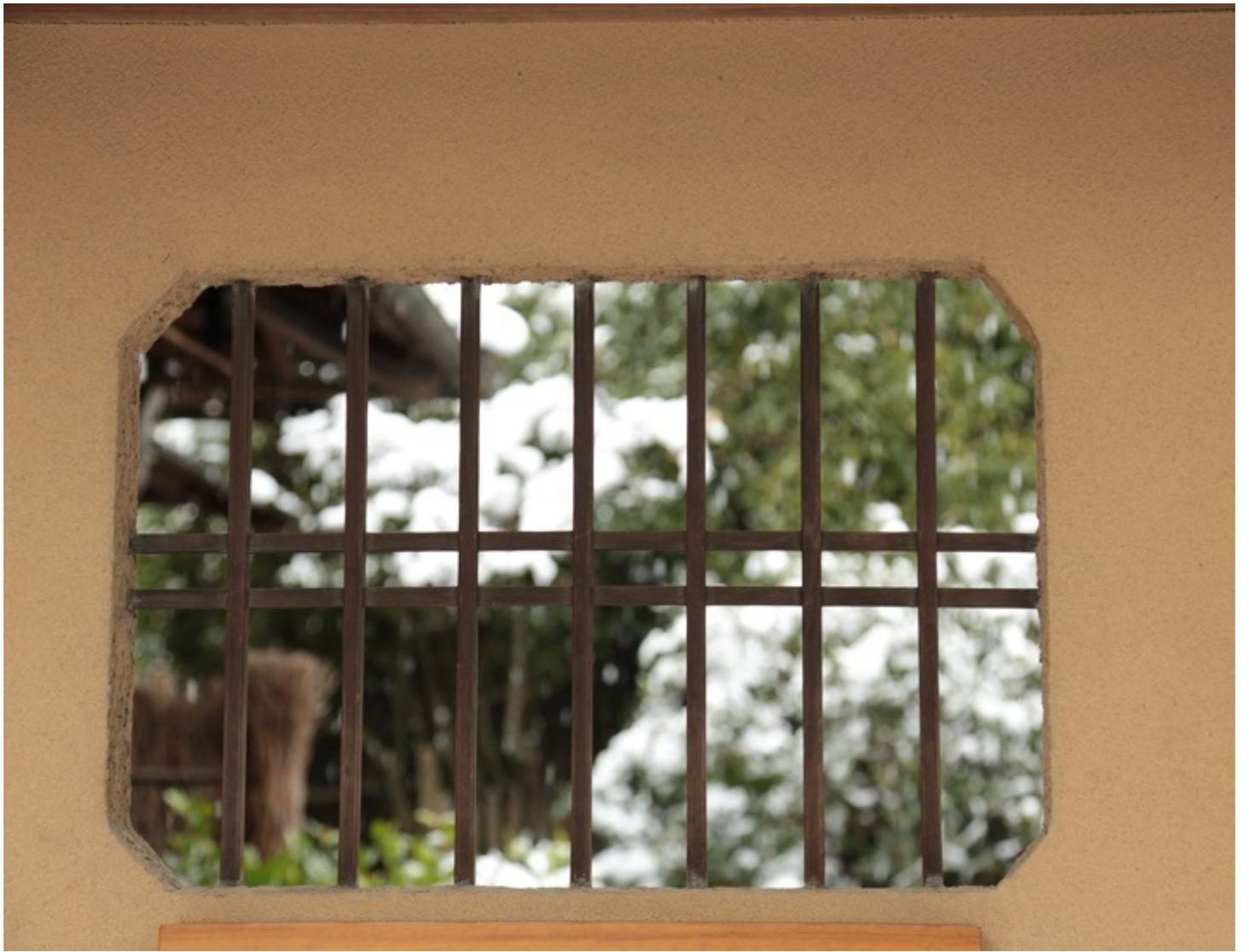
お菓子は栗羊羹でした。  
羊羹は”ねっとり”、というよりは”つるっ”とした感じで、  
ちょっと水ようかんぽかったです。

茶碗も敷物も梅柄で、季節感ぴったりです。

...店員さんも、他のお客さんも女性ばかりで、、、。



ごちそうさまでした。





さすがに今日は自転車はちょっとお。





雪庇。

雪の庇なんて、雅趣のある言葉だと思うのだけれど、  
雪国なら、こんな柔な柱ではもたないんだろうなあ。



風呂手ぬぐいのよう。。



---

随分歩いて、大豊神社というところに来ました。  
ちょっと覗いてみるかな。



### 本殿の前の神楽殿

京都の神社を覗きに入ると、必ずと言っていいぐらい  
どなたかがお参りに来てはります。

邪魔にならないよう影を薄くして（超能力は無いので気持ちだけですけど）  
居るんですが、今日はさすがに見かけませんでした。



咲き時が楽しみな枝垂れ桜です。





---

猫の足跡。今日はここまで。  
こんなに降ったのに、お昼を食べ終わるころには、  
中心部の雪はすっかり消えていました。

## 写真集

- 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです itu」 <http://p.booklog.jp/book/82880>  
「空と雪と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.booklog.jp/book/82643>  
「空と雪と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.booklog.jp/book/82160>  
「からくれないに ni」 <http://p.booklog.jp/book/81713>  
「bleu, jaune, vermillon」 <http://p.booklog.jp/book/81111>  
「H45」 <http://p.booklog.jp/book/80229>  
「Fly me to Paris Ⅰ～XⅣ」  
「祇王 こけのころも」 <http://p.booklog.jp/book/74864>  
「空と雨と6月と」 <http://p.booklog.jp/book/74060>

## 小説

- 「ネガティブズ2」  
「ネガティブズ」 <http://p.booklog.jp/book/73051>

- 写真集「空と僕と自転車とni」 <http://p.booklog.jp/book/72996>  
写真集「空と僕と自転車と」 <http://p.booklog.jp/book/72092>  
写真集「空と椿と木蓮と、そして花木木」 <http://p.booklog.jp/book/71344>  
写真集「空と雪と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.booklog.jp/book/70700>  
写真集「空と雪と、ときどき春の野を行く」 <http://p.booklog.jp/book/70137>  
写真集「空と月と、夜桜デート」 <http://p.booklog.jp/book/69415>  
写真集「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.booklog.jp/book/68722>  
写真集「空と雪と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>  
写真集「空と雪と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>  
写真集「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>  
写真集「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>  
写真集「空と雪と、ときどき月」 <http://p.booklog.jp/book/36294>  
写真集「夢みる桜」 <http://p.booklog.jp/book/45286>

## 「黄金の妻畑」

- 1.Largo <http://p.booklog.jp/book/58662>

## 第1回 ～ 第41回

## 「黄昏の王国」

- イーリアス編 <http://p.booklog.jp/book/49612>  
アリシア編 <http://p.booklog.jp/book/51254>

## ～ 僕カノシリーズ ～

- 「僕が彼女に殺された理由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/31906>  
「僕と彼女の選択の事由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/35498>  
「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった。」 <http://p.booklog.jp/book/36101>  
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>  
「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>  
「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.booklog.jp/book/37731>  
「僕と彼女と校庭で」 <http://p.booklog.jp/book/38409>  
「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.booklog.jp/book/38977>  
「僕と彼女のアリア」 <http://p.booklog.jp/book/46524>  
「僕と彼女のインベンション」（次回）

## ～ その他 ～

- 傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>  
夕暮れの赤ちょうちん <http://p.booklog.jp/book/42024>  
いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>  
サマータイム・ブルーズ <http://p.booklog.jp/book/34054>  
危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>  
デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>  
インフルエンズ あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>  
花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

- 詞画集「ただ憧れだけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>  
画集「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>